

令和4年度鳥取・岡山両県知事会議 議事録

日時：令和4年8月5日（金）13時10分～14時20分

場所：R373やまさと（鳥取県智頭町）

< 1 開会 >

岩下政策戦略監

それでは、鳥取岡山両県知事会を開催させていただきます。私は本日の司会をさせていただきます鳥取県令和新時代創造本部政策戦略監の岩下でございます。よろしくお願いいたします。

意見交換に入る前にただいま両知事のお手元に置かせていただいております、地元智頭町から提供いただきましたほうじ茶、それから、ちずぶる一のコースター。それから先ほど視察していただきました R373やまさと内のお菓子工房くりのみ学級のクッキーをご用意させていただきました。ご承知ください。

それでは、これから開会にあたりまして、開催県である鳥取県の平井知事からご挨拶申し上げます。よろしくお願いいたします。

< 2 両県知事あいさつ >

平井知事

本日は伊原木知事にここ鳥取県智頭町にお越しいただき、本当にありがとうございます。また、両県の皆様、関係者の皆様に多大なお世話をいただきまして、この両県知事会議を実現していただきまして、本当に感謝を申し上げたいと思います。「峡深き 日はうつうつと 杉の花」これは津山の西東三鬼さんの句でございます。非常に智頭というのは谷が深いところでございます。ここに慶長杉といわれます 300年にわたる杉が今も大事に植えられているくらい江戸時代からこうした杉の産地として栄えてきたところでございます。杉の花をへだてて、西東三鬼さんが詠まれた津山とはちょうど山をへだてた那岐山のこっち側ということになりますが、今知事がおられますのは西栗倉の方から下に降りたところでございます。ここはちょうど美作とそして智頭・因幡との境でありまして、くまごえという地名はそこまで熊が迎えに来て、狩りをする。それで国境で引き渡したのではないかと。そういった昔話の物語とあわせてこういう名前が残っているわけがあります。まさに両県の連携の要の地でございます。伊原木知事に感謝申し上げたいと思います。杉の花もでございますが、伊原木知事におかれましては知事会の中に杉花粉、花粉対策の項目を取り入れていただきまして、このたび集大成を出していただきました。本当に感謝申し上げます。また先週の全国知事会議におきまして、奈良宣言をとりまとめになられたとか、それから物価対策など立ち上げていく上でまさに要として伊原木知事には活躍していただいております。本当に感謝申し上げる次第でございます。

本日は喫緊の課題につきまして話し合いたいと思いますが、一つはやはり新型コロナの問題。これは岡山でも、また広島も今、過去最多を更新し続けておりますし、私ども鳥取も今最多で来ております。今日は800を若干切りましたけども、フェーズとしては変わってない状況にあります。また、又来週せり上がるのでは無いかということで、今準備をしている状況ではありますが、全国共通の課題であり、特に岡山県でも今伊原木知事はその指揮をとっているところですので、早速に理解を合わせることをやりたいと思います。

またあわせまして那岐山をはさんで因美線という列車が走っていますが、これが開業90周年を迎える今年にJRさんの見直し問題が出てきております。今日のこのほうじ茶だとかこのよう

かんはですね、その那岐のあたり、五月田だとかそうした集落で作った品でございまして、そうした思いを体の方に感じたいと思います。ぜひそうしたコロナの課題でありますとか、高速道路や鉄道など色々と話ができればありがたく考える次第でございまして、ぜひですね忌憚の無いといえますか、この智頭の風景を見ていただき、先ほどの事項を挙げていただき、さわやかな感覚で岡山にかえっていただければなと思います。今日は中澤様とか、あるいは大藤さんとか中村さんとか、こちらのやまさとの皆様も一緒にお伺いさせていただきました。ぜひですね、こうした一つの小さな拠点でありまして、岡山との県境でありますので、今後とも両県の交流の拠点になりますよう、ご支援いただければと思います。今日は本当にありがとうございました。

岩下政策戦略監

はい、ありがとうございました。続きまして、岡山県の伊原木知事様にも一言お願いできますでしょうか。よろしく申し上げます。

伊原木知事

はい。座ってご挨拶をさせていただきます。本日は会場、両県の皆様には素晴らしい準備をしていただきました。本当にありがとうございました。また、平井知事、全国知事会長になられてから、一段と大車輪の活躍ぶりでございます。時代が待っていたというか、こういう大変なコロナの難局のときだからこそ、全国知事会がこういう方を必要としていたのかなあとということを、最近痛感しているところでございます。先日奈良で久しぶりのリアル開催、リモートじゃ無い、皆で集まる全国知事会がありましたけれども、いろいろそれぞれの知事が思っていることを的確にまとめられたのみならず、それまでずっといろいろ課題があつてなかなか変わらないっていうことを、見事にもう全然違う景色を見せていただいた上に、これまでやれなかったもっとアピールしよう、例えばセッションだとか、平井知事ご自身がアメリカの全国知事会でどういった活動をしているのかを何度も視察に行かれて、温められていた、我々後輩たちにこんなことっていいよね、これやってみたいよねというふうに言われていたことの、非常に大事な部分が今回実現をし、皆さん非常に満足度は高かった。しかも、それをまとめて、政府に対して我々がいいたいことをきちんとお伝えを、知事会が終わった直後からされている。また、テレビにも出演して、いろいろなことを伝えてくださっている。しかも、ずっとこの2年半、コロナの委員として、政府の中で発言をしてくださっている。知事会として、もしくは我々、地域、それぞれの地方にいてコロナを担当している人間として特に最初の頃は、1年目のときは、どうして我々が困っていることをわかってくれないだろうっていうことが実際あったわけですけども、それが明らかに2年前と比べると小さくなっている。その理由の大きな数が平井知事が全国知事会の会長として、もしくは政府の委員として、いろんな人の意見を集約して的確に伝えていただき、また、我々にフィードバックをしていただいている。大変ありがたいことでございます。この場を借りまして、むしろ全国の知事を代表して、御礼を申し上げさせていただきます。本当にありがとうございました。

そのお忙しい全国知事会会長に、たまたまお隣ということで、会わせていただける、普段から良くしていただけるっていうのはすごい役得でございまして。ぜひアンテナショップも一緒にさせていただいている関係もあり、これからもぜひ仲良くさせたいと思っています。

あともう一つ、われわれのヘリコプターが緊急で修理をしなければいけなくなってしまうと、その二ヶ月の間にずいぶん鳥取県さんの「だいせん」にお世話になりました。林野火災ですとか山岳救助事案で岡山県民を助けていただいた。本当にありがとうございました。災害対応ということでいいますと、人の派遣をお互いしませんかというふうに中国地方知事会で申し上げても、なかなか実際人繰りが難しいということで正式には採用されなかったんですけども、平井知事

にはご理解をいただいて、すぐお互いの県では人を相互に派遣するようになりました。その方が我々の4年前にはなりませんけれども、水害の時にすぐ駆けつけていただいて、当然鳥取県庁職員の方ですから、県の要請で岡山県のことについても勉強してくださっていたので即戦力として動いていただきましたし、そもそも本当は中国地方知事会のルールによりますと、我々が広島県から助けてもらう、我々が鳥取県さんを助けるような順番なんですけれども、あのとき広島岡山同時被災ということで我々助ける余裕が無かったということもあって、順番からすると逆なんですけれども、鳥取県の方から絶大なるご支援を被災したときにはいただいた。色々な寄付に関する、我々が忙しくて手を付けられなさそうなことについて助けていただいた。もう本当にありとあらゆることでお手伝いをいただいた。本当にてんやわんやだったものですから、本当にありがとうございました。そんなことで、いろいろなところでお世話になっている鳥取県さんですが、これからどうぞよろしくお願ひします。また今日の会議が有意義になるようしっかりとがんばっていきたいと思います。

岩下政策戦略監

ありがとうございました。これから意見交換に入らせていただきますが、皆様のお手元に鳥取県と岡山県の新型コロナウイルス感染症状況の資料を配付させていただいております。よろしくお願ひします。それでは、開催県の平井知事に進行をお願いできますでしょうか。よろしくお願ひいたします。

< 3 知事会議 >

【(1) 新型コロナウイルス「第7波」対策の連携・協力】

平井知事

それでは、早速議論を始めさせていただきたいと思いますが、伊原木知事から本当にありがたいお言葉数々いただきました。まあ火災などでも、必要とする中で「だいせん」の活躍伝えていただきましたが、実はここは373号線で、だからここR373やまさと言いうわけですが、この373号線、実は豪雪のとき通れないときがありまして、それでトラックなどがスタックをしまして、大変な状況になったことがございました。そのとき、覚えておられる方もおられると思いますが、ちょうど両県知事会議をしていただいております、伊原木知事の方にこちらから道路開けるの大変なので、岡山側から通行回すことできないでしょうかとお願ひしましたら、お帰りになられてすぐですね、除雪車を回していただきました。本当にありがたく、いまでもはっきりと覚えています。そういうふうに伊原木知事には、両県の協力関係が災害等で非常に重要なことを常に考えておられまして、鳥取県を代表して感謝申し上げたいと思います。

それでまずですね今日の議題の新型コロナウイルス、第7波対策の連携・協力について、議題といたしますが、先に私の方で意見を述べさせていただき、その後伊原木知事にお話をいただきながら、意見交換とさせていただきます。

伊原木知事におかれましては、第7波BA5対策を強化する宣言をするという非常に重要な日にここに来ていただきました。感謝申し上げますが、鳥取県も今急上昇しているところでありまして、今日は発表で783名ですが、実はグラフをみていただきまして、一番下の方の青いところ、これが急にこういう風に。これが実は岡山県や兵庫県と境を接する県の東部の方でございまして、今までは西部の方の山陰の向こう側の不明（者数）が、そういう流行が引き続きだったんですが、ほとんど両にらみが最近の状況でございまして、今週に入って800を上回る日が続き、昨日は783でしたが、東部では319件ということでございまして。その中、病床も逼迫をし

てきまして、昨日、西部の方で特別警報を出させていただきました。そしてあとは新規陽性者の割合でございます。鳥取県の方は疫学調査を徹底的にやるということで、実は始まりがかなり早くて、7月に入る頃には大分BA5に変わってきていました。それをなんとか抑えながら、感染を抑え込もうとしてきたわけでありまして。それで次のページの方ご覧いただきますと、病床使用率であります、西部の方では50%越える状況、岡山県と同じような状況であります、中部の方も伸びてきていると。そのあとで下にありますが、病床を基準とした西部の特別警報や東中部の警報に及んでいる。次のページにありますように、全県で感染が広がっている状況が続いておりまして、伊原木知事の方も非常に悩まれています、拡大傾向にあります。なんとかそれを急速に拡大しないように、抑えながらコントロールしたいということとをずっと一月やっているところでもあります。下の方はレベルの分類ですが、今はレベルⅡと判断しているということです。

情報提供としてですね、次のページ以降は7枚目のシート以降であります、ここはやはりこうしたどうやったら感染を防げるかだとか、感染が広がっているかの知見を共有したり、いざというときに両県も含めて今後連携することもあるだろうと思っています。これまでもこうした知見を共有させていただいており、ぜひ第7波の中でもこれ含めてやっていければと思っています。

上の方7ページでございますのは、要はエアロゾル感染が主流だということです。おそらくこの会場は天井が高くあまりエアロゾルになりにくいだろうと思います。しかしながら例えば職場の感染が非常に多く起こっている。これは押谷先生が言うんですが、押谷先生は職場感染は最近減ってるよというような、研究の成果として言うんですね。多分データがおかしいですね。これは全然減らないです。むしろ、あちこちで県内でも起こっていますし、そういうことはなぜ起こるかという、マスクをして普通に対策をとってやっているというのが今まででした。おそらくBA2までは、これで大概のものは抑えられたと思っていますが、エアロゾル感染の発生割合が非常に高くなってきているということとあります、場合によっては特にウレタン系のマスクは透過しますし、不織布マスクでも一定程度は透過してしまうと思います。ですから、どういう風に換気をしたり、空気を回すかが重要なんですが、左側の棒グラフにありますように、まずですね、本県の場合、見つかった陽性者がいて、その翌日にはその同じ部署の人を全部検査しました。かなりこれも広い範囲の検査で5、60人はいたと思います。さらにですね、同じフロアの反対側、大分離れたところの人たちもやはり検査した方がいいだろうとやりましたところ、そこでも陽性者がでてきたということです。原因はよく当時分からなかったんですけども、やはりエアロゾル感染がおきている。エアロゾルのあるところに、同じフロアの人が入ってくれば、例えばトイレとかいろんな共通空間があります。そういうところで起こりうるのでは無いかと思います。伝統的に感染原因など、国の方では飛沫感染とそれから接触感染を主たる原因に挙げていますが、BA5の場合はやはりエアロゾル感染というのが頻発するということを入れておかなければならないのではないかという教訓を得ました。それから右の方であります、これも、児童福祉施設の例でありますけども、ここでもやはり広範囲の同じ空間の子どもたちを調べたところ、無症状でも感染しているという人が出たんですね。こういうようなことは理由がございまして、こういうような例がございましたけれども、教室、今日は教室をご覧になっています。こうしたところで、非常に最近の空調はよくなってまして、冷たい空気が逃げない、そういう空調の機械が最新鋭であって、それを導入していたある学校がですね、同じ教室の中の複数の人が濃厚に感染しました。なぜ教室の中での感染が起こったのか色々調べたらですね。窓を開けるのは定期的に行っていたようでありました。しかしそれでもエアロゾル感染が起こったとみられる状況がありました。そうするとこれ、与圧式の空調なんだそうです。つまり中の空気が外の空気を押し出すと。だから窓を開けても中に外の空気が入ってこない。そうすると冷房の空気が逃げないですね。

だから非常に性能がいいものですから、そういう与圧式になっている。そういう空調空間がつくられた。だから結構、最先端の職場とかでなぜかしら起こるということがあったりします。

それからよく最近では医療施設だとか福祉施設、こちら面会を遮断したり、ちゃんと検査をしたりしているのに、感染が広がる。クラスターが発生しています。色々調べてみますと、あとから陽性になる人たちが結構いるんですね。PCR検査をすり抜けられているということです。本県では2回やる。例えば家族で陽性者がいたら検査しますよと、こういうことを始めたりして十分な対策をとっていても、なぜか発生する。伊原木知事も大変苦労されていると思います。下の方は伊原木知事もよくある現象だとおもいますが、例えばスポーツイベントだとか、各市町村で集まることがあったりしますと、それが保育園や小学校に広がる、職場に広がる、ぐるぐるぐるぐる回って感染してしまう。地域の中に住み着くような形でウイルスが増大する。どうしてもベースが下らない。オミクロンになってから、上がってもあまり下らない。これはやはりオミクロンの特性ではないかと思いますが、なかなかこれ厚労大臣こないだ大分申し上げたんですが、あまり理解していただけない。まあ、そういうようなことを我々現場としてもよくとらえながらやるかなと思います。

次の9ページのところにありますように、最近では医療機関や高齢者施設のこれらのクラスターが発生しているということです。事業所それから学校・保育園等が起こっている。事業所のクラスターだとか、あるいは高齢者施設のクラスターがこれだけ多いのはBA2では本県ではあまり無かったことです。そういう特徴がある。

下の方は検出体制におきますBA5系統のこれが赤です。今のところは、BA2.75はまだ見られていないということでもあります。

そういうわけで次の11ページ、12ページにありますように、県民の皆様にはですね、特にこのお盆の時期、人が動く時期でありますので、しっかりと気をつけてくださいという内容のメッセージでございます。

ぜひ岡山県さんともいっしょになりまして、こういう感染ルートの特定でありますとか、知見の共有であるとかですね、また、いざ本当に逼迫してきた際の相互援助などご協力いただければありがたいと思います。

それでは伊原木知事の方からお話しをいただきたいと思います。

伊原木知事

ありがとうございました。平井知事の場合は普通の知事と違って、色々な方面から情報が入るうえに、ご自身が非常に熱心に研究をされている。エッセンスをお知らせいただき、非常にありがたく思っております。エアロゾル感染が主流というか、強くなっている。よかれと思って立てたパーティションがかえって換気のじゃまになるというのは、くやしい。事実そういう風にしか考えられない事例が増えているのならば、我々も今まで以上に換気ということ、空気を回す、パーティションの立て方を横に立てるのか縦に立てるのか、風の通り方を考えながら、やらなければいけないと思うと、色々また新たな工夫の余地があると思っているところで。

今回BA5については、山陽よりも山陰のほうが早く切り替わったというふうに考えておられて、我々「今回、山陰大変だな」というふうに、「我々まだそんなに切り替わってないな」というふうに思っていましたけど、切り替わりました途端に手が付けられないくらい数字が伸びてまいりました。元々デルタの時のように、あがるのも早かったが、ストーンと数字が落ちたときと違って、ピークはうったけれども本当に落ち方が鈍い。落ちているのでも、ゆっくりならしょうが無いということで、じっくり時間をかけて落としていく。このBA5で上がり方のスピード、早さ、

ピークをうたない強さ、大変困っているところであります。一週間前までは我々なんとか宣言などブレーキを踏まずに乗り越えられるのでは無いか。病床使用率はずいぶん低いままで、感染者数は多くても、病床使用率は30%強くらいで、けっこう踏ん張ってきたんですけど、この一週間ちょっとですごいスピードで病床使用率が上がり、オミクロンの特性ということもあって、重傷者はほとんどいっしょやらない、0か1かというところだったわけですけども、今7人、数日前は10人、ちょっと急激に景色が変わってきてしまっている。ということで数日、連日庁内で会議をいたしまして、昨日もこれ以上待つわけにはいかないということで、出したかったわけではないわけでありまして、BA5対策強化宣言、今朝、発出をさせていただきました。本当ここ数日間の景色の移り方に驚いております。ただ、これは岡山県民の皆様にご協力をいただいて、危機に臨むのが必要だと思って。難しいのは、宣言を出したわけですけども、例えば飲食店に、時短をお願いしたわけでもない。外出自粛要請を出したわけでもない。これまでと、昨日までとどこが違うのかという説明がなかなか今回の宣言は難しいなというのが正直思っている。かといって急ブレーキ、2年前に全国でやったような外出しないでくださいと、町から人っ子一人いなくなるという形で抑えていくつもりもない。いかに我々、的確な高いリスクの行動をそれぞれの方に控えていただく。また、リスクの高い方々をこれまで以上に効果的に、年齢的には高齢者もしくは基礎疾患のある方ですけども、これまで以上に厳重にお守りすることで感染のピークをうって、抑えていくことができるかどうかということが問われています。これまで以上に難しいことであると思っております、宣言出ただけでなくて、宣言の趣旨はきちんと折り込みながらも、我々が望んでいるような行動変化につながるかっていう、これが伝わるかが非常に大事なのだと思います。

ワクチン接種は大事で本当にくどいほど言っているにもかかわらず、日本全国でもワクチン接種率十分上がっていませんし、岡山県も恥ずかしながら全国平均と比べても1ポイントずつくらい低いということで、がんばっておりますがまだまだやる残っているということです。またしっかりとがんばっていきましょうと思っております。

高齢者施設に対してとにかく頻繁な検査を、これまでは高齢者施設でずいぶん感染を抑えてこれたと考えている。これまで2週間に1回位のペースで検査してもらってキットを運んでいたんですけども、キットの入手も見ながらなんですけども、8月中は頻度をグッと上げて、1週間に2回の検査をやっていきたい。

病床数は554床から30床増やしておりますが、過去最高レベルとなってしまった病床使用率57%を3ポイント下がって54%になる程度、気休めにもならないんですが、やっぱり感染を抑えるほうが効果的な対策なのでは無いかなど。

少しずつ我々、いろんなところで発熱外来が大変なことになっていると由々しき事態ですけども、見てみますと、土日休日が岡山の場合は（発熱患者の診療・検査医療機関が）非常に逼迫している。土日にかけてくださる医療機関に支援をして、今お盆を含めた休日にあっぴあっぴしないようにエールを送っているところであります。

お子さんはあまり重症化しないんですけども、親御さんは心配ですので、ちょっと大げさなリアクションをとられるということで、適切なケアをしていただくということで、対処方法のチラシを作成しています。

ワクチン接種はサッカーJリーグチームのサイン入りグッズの抽選会ですとかJRさんと連携して宿泊券が当たるですとか、とにかく話題になる工夫はしているつもりです。あとは夜間接種、それから予約なし接種をしまして、夜だったら打るとか、予約なしだったらできるとか若い方を中心にまだまだ実施しなければ。お盆は休むところが多かったものですから、お盆はチャンス

なんだということで、県営の会場をお盆期間中はずっと開けておくことにしています。

あと、高齢者施設は早めのワクチン接種をしてもらいたいのですが、私は一日でも早く打たせてくれと、ピリピリしているのかと思ったら、多くの施設が意外とのんびりしていらっしゃる。7月までに済ませますよという施設が2割しかなくて、お盆までに済ませますよというところが半分くらい。同一市町村から入所者がそろっているのではなく、いろんな市町村から、県外からこられていることがあったりして、接種券が全部そろっていない。やっぱり皆接種券がそろってから段取りしようかと思っておられる施設が多いことがびっくりした訳なんですけども、100%じゃなくても、95%でも全然違うし。市町村と協力をしながら、今打たないといつ打つのか、一ヶ月後に打つのかということで、一所懸命がんばっているところ。

大騒ぎをしているというぐらいの報告にしかならない、とにかくできることをしっかりやっていくよう、お知恵をもらえれば、教えていただきながら、ちょっとでも改善していこうと思うのでどうぞよろしくお願いします。

平井知事

ありがとうございました。おっしゃるように高齢者施設の検査、非常に重要ですし、それからまた今のワクチン接種ですね、こちらの方もぜひしていただければ。医療関係でも大体同じような話に、我々も今朝同様の話があったので、お盆休みでも開けていただけたところには支援をしていこうというのはあり得ることだと思っていて、ぜひまた情報の共有をしていながら、このBA5対策を引き続き連携をよろしくお願いします。

【(2) 鉄道の利用促進と鉄道のネットワークの堅持】

平井知事

それでは引き続きまして、「鉄道の利用促進と鉄道のネットワークの堅持」の項目に入らせていただきたいと思いますが、まず一つは色々とキャンペーンをやりながらですね、利用促進を伊原木知事の岡山県と共同でできればということになります。あともう一つはやっぱり国としてのネットワークに対する責任の取り方を一緒にやりながらやっていこうと思います。

このたびですね私も「SAKU美SAKU楽」とちょうど接続をするような形で「あめつち」というJRの観光列車を走らせました。たくさんのお客さんが全国から集まってきました。「SAKU美SAKU楽」も非常に人気なのでありまして、こういうことで鉄道の魅力というのは、津山には鉄道基地なんかもありますし、ファンとしては垂涎のものがあると思いますね。掘り起こせばまだまだお客様あるんだなと実感いたしました、この次はお盆の8月11日頃に「砂丘号」という急行を岡山から鳥取まで走らせていただけるということになりまして。ぜひ我々も盛り上げを智頭の子どもたちですね。演奏ですとか、しゃんしゃん傘踊り色々含めまして、両県相まってそうした因美線振興を進めていければと思います。

(聞き取れず)と先般、(聞き取れず)の津山会頭がBzのボーカリストの(聞き取れず)でした。びっくりしました。Bzのボーカリスト稲葉浩志さん。因幡つながりでございます(笑)。ぜひですね、因美線取り上げていただきたいですね。あるいは、「男はつらいよ」という美作滝尾駅がでございます。ここがシーンでロケ地になりまして。実は山田監督は実は鳥取の人なんです(要確認)。鳥取市内の人です。そういうこともあって分かりませんが、なんとなく同じ近い位置にあるんですが、本県内でも安倍駅がロケ地になってまして、割とテーマを捉えてですね、この因美線を使っただけならば、(聞き取れず)非常に当たるかも知れないなど。ぜひご審議いただきたいと思います。

伊原木知事

この因美線、地域にとって大事な通勤通学の足、さらに観光においても非常に大事な線であり

ますけれども、ご案内の通り、JR 西日本から乗車密度が低い、これまでとおりにはいかない路線が公表され、我々としても危機感をもっているところでもあります。

今、因美線津山線近代化促進期成同盟会を通じた JR 西日本への要望活動ですとか、地域の皆様に使っていただくということが非常に大事ですので、利用の呼びかけや、また観光客にむけて、いろいろな可能性を探っていかなければいけないと思っています。

お話ししていただきました、今ちょうど7、8、9月とディスティネーションキャンペーンを岡山でやっております。その目玉の一つが「SAKU 美 SAKU 楽」や「あめつち」でありまして、そして「あめつち」へ乗り継いでいく、こういったキャンペーンのときに特に普段より注目が集まりますので、ぜひいろいろな方にその魅力を知ってもらったらと思っています。また、「美作スローライフ列車」も非常に人気のある、15年ずっと行っている列車でして、さきほどおっしゃっていただきました寅さんのロケ地ですとか、とにかく、ここで知恵を出し渋ってもいけないと思います。いろんな可能性を探っていきたいと思っています。

また先月25日に「岡山県 JR 在来線利用促進検討協議会」を新たに設立しました。この協議会には、県内の全ての市町村や JR 西日本の岡山支社に参画をしていただいております。またちょっと違った観点で利用促進できないか、この協議会で探っていきたいと思っています。

輸送密度が1,000人を下回る線区については、先日公表された国の有識者検討会において、地域の交通の在り方について検討を進めていく必要があるという考え方が示されたところです。地域にふさわしい公共交通の在り方について検討を進めることは、それ自体は非常に必要な取組であると考えています。地域のネットワークをしっかりと維持していけるよう、引き続き、鳥取県の皆様と連携しながら利用促進に取り組むということと、国がどういう風に取り組んでくれるのか、法制化・予算化でどういう可能性があるのか、しっかりと連携して働きかけてまいりたいと存じます。

平井知事

ありがとうございました。力強いお言葉いただきまして感謝申し上げたいと思います。この後ご案内します石谷家住宅のご当主石谷さんは、因美線の開通に非常にご尽力いただいたお家柄でもございます。また、那岐駅のほうにこのあとご案内差し上げたいと思いますので、よろしく願いいたします。

【(3) 高速道路ネットワークの整備促進等】

平井知事

それでは引き続きまして、高速道路と少子化対策についてであります。高速道路につきましては、米子自動車道が開通30周年を迎えます。この8月6日には蒜山のサービスエリアで記念行事が行われることになっていますが、いずれにせよさらにしっかり高めるためにも四車線化を全線で目指していければと考えておりまして、ぜひご協力をお願いします。具体的には例えば本年度でありますと、溝口米子間が事業化されることになりました。(聞き取れず)でございますが、利用促進を図りながら、この点についても進捗を進めていければと思いますので、よろしく願い申し上げます。

またあわせまして、ちょうどここから県境に向けては、鳥取自動車道が走っておりますが、志戸坂峠道路というのが直営の一般道でございます。このバイパス化を進めまして、しっかり二車線、産業(聞き取れず)道路にしていくのも直轄事業化を推進しまして、伊原木知事と連携したいと思います。

それでは少子化関連も含めてお話しいただければと思います。

伊原木知事

ありがとうございました。この岡山米子線、ずっと長らく届かなかったものが、ここ数年間で色々な動きがあって、全区間四車線で整備をすすめるというのは、本当に我々にとっても、いいニュースが続いたわけでございます。また、工事の方順調に進んでいるということで大変うれしく思っています。いろいろな形で、国に働きかけたことが非常に上手くいっていると思っています。

今、利用促進のスタンプラリーですとか、いろんなイベントが行われています。先ほどおっしゃっていただきました明日の8月6日、それから11月5日にも米子道30周年記念イベントを共同で出展するというのを聞いています。ぜひにぎやかにお祝いをしていきたいと思えます。ここは山陽山陰を結ぶ大事な高速道路網でありますし、災害のときも非常に大事なバックアップ機能になりますので、取り組んでいきたいと思えます。

【(4) 少子化対策の充実】

伊原木知事

少子化対策であります。とにかく少子化について、これから全く変わらないというか、悪化をしている状態であります。こども家庭庁発足を、これまで以上にちゃんと国も取り組んでくれるだろうと、期待をしつつ、自分たちでも本気で取り組んでいかなければいけない。これ言うまでもございません。

我々も、出会いから結婚、妊娠、出産、子育て、途切れなくサポートすると言い切って、しっかり頑張ってきたつもりなんですけれども、じゃあ出生率どうだと思ったら1.45で、全国平均よりはちょっとマシだっというレベルで留まっているということです。ただ、それぞれを見ると少しずつ成果が出ているのも事実でございます、例えば「おかやま出会い・結婚サポートセンター」で結婚支援システム「おかやま縁むすびネット」、これかなり順調に件数をふやして、評判もいい。とにかく結婚したい人に、結婚をしていただく、子供みたい人に子供を産んでいただく。岡山県の場合はこの少子化に本気で取り組んだときの岡山県の希望出生率が1.8程度だったわけなんですけれども、失礼1.8下回ったむしろ1.7だったわけなんですけれども、この最近の調査では岡山県は希望出生率2を超えていますので、その希望を満たすことができれば、出生率2の実現は可能だという状態にまでは、皆さんの結婚したいという気持ち、子供を産み育てたい気持ちは戻ってきているんですけど、これ私はいいニュースだと思っております。ぜひそれぞれの皆さん、特に若い方の夢を叶えていきたいと思っております。

コロナで結婚自体がいろいろ減っているのは恐ろしいことでありまして、婚活イベントを今、再開する。非常に評判もいいものですから、ぜひ、いろんな切り口で移住と組み合わせたり、ワーケーションと組み合わせたりとか、結婚支援ボランティアの皆様の研修をしたり、いろいろ考えています。これはぜひ、我々だけでやっても、それはそれでやるのですけれども、お隣の地域とクロスでやると、意外にまた思わぬ出会いがあったりですとか、ぜひいろいろな取り組みを進めていきたいと思っております。

あと私がすごく期待していることがありまして、中学生、高校生の若い世代を対象とした結婚子育てライフデザイン講座というのを、今年度から始めています。これは、下から上がってきたのもあるのですが、私自身、最近立て続けに何本か、論文というか記事というか本というか、同じような趣旨の話に突き当たっている。我々からすると、女性は本当に母性の塊に見えるもの、なんかマリア様みたいに見えることがあるわけなんですけれども、でも実はそれっていうのは、ご飯が食べたいというレベルの本能じゃない。ある種、獲得される本能であって、子育ての経験が、ご自身の子供っていうことじゃなくて、ご本人が思春期とか、十代の時に、自分の弟、妹、もし

くはいとことか、ちっちゃい子供と触れ合う経験があることで、スイッチが入って、もうあたかも生まれたときからの本能のような母性を示すのだけれども、そういう機会がない場合、子どもってあんまりかわいと思えないとか、自分の子どもなのにちょっと気持ち悪く感じてしまうとか、そういったことが起こりうるという、いろんな調査を聞きました。いや、それは本人にとってもちょっと、残念です。例えば一人目のときすごい違和感があるのに、その一人目のときに無理やり、嫌々なのかもしれませんが、育てていくうちに母性が湧き上がってきて、いろんなホルモンの関係があるでしょうけれども、二人目の時にはもう非常にスムーズに子育てをするっていうことも多々あるというお話を聞く。それだったら中学生、高校生の時に、最近は兄弟が少ないお子さんが多いですから、お姉さん気分を味わってもらおうっていう今取り組みをしています。私これ結構、その子たちの家庭に対する想いが変わるのではないかというのは、期待をしています。

また、最近、JCI 日本青年会議所の取り組みのベビーファースト宣言をさせていただきました。JCI の皆さん、まさにこれから子育てするぞっていう年代の方々、元気な地域の方々ですから、その方々と一緒に、子育て支援に取り組んでいきたいと思っています。とにかく、この子育て支援、結婚支援、いろいろなことを取り組んでいきたいと思います。ぜひ、また何か一緒にできることがありましたら、よろしくをお願いします。

平井知事

はいありがとうございます。おっしゃるように、子育ては非常に重要であって、今伊原木知事がおっしゃったのを聞いてなるほどなと思いましたが、やっぱりみずから子育てをして後天的に獲得する。そういうものが子育ての技術であったり、愛情なのかもしれないなというふうに思います。そういう意味で鳥取県がわりと伝統的にやってきた赤ちゃん学級というのがありまして、赤ちゃんが学校にやってくると。それで子供たちが家に赤ん坊がいないという世代が割といます。昔と違って兄弟が少ないですから。そういうのと向き合いながらですね、子どもたちも成長するし、子育て世代で赤ん坊を育てているお母さん、お父さんたちも安心するといえますか、ひとつ楽しめるという、そんなような体験学習ってことも、結構効果があると思っております。

今おっしゃいました結婚相談につきましても、「えんトリー」という事業所が、鳥取県の法人会連合会でやっていただきまして、平成 27 年から段々と拡大してきています。今やはり出会いが少ないので、伊原木知事がおっしゃるように両県連携での婚活イベントが実現できればありがたいと思います。

本県でも、縁ナビという仲人ボランティアをはじめたところやはり評判がいいんですよ。どうやって出会うかがなかなか今難しくなっているのが事実でして、小さな圏域の中だけでなく、もう少し幅広く出会いの機会をもって、というのは伊原木知事のおっしゃるとおりだと思います。

鳥取の女性たちも桃太郎に会いに岡山にいつてもらいたいと思いますので、どうかよろしくをお願いします。

< 4 合意事項 >

平井知事

そういうわけで4つのテーマについて話し合い終わりましたけれども、合意事項として今日お手元の方に用意させていただいております。ちょっと読み上げさせていただきます。よろしいでしょうか。よろしければ、それで合意とさせていただきますと思います。

○新型コロナウイルス「第7波」対策の連携・協力

オミクロン株の BA.5 系統による感染事例や対応策などについて情報共有を行うなど「第7波」

対策について連携・協力していきます。

○鉄道の利用促進と鉄道ネットワークの堅持

因美線をはじめとする鉄道の利用促進を進めるとともに、国が鉄道ネットワークに対する責務を果たすよう、引き続き連携して働きかけていきます。

○高速道路ネットワークの整備促進等

中国横断自動車道「岡山米子線」における早期の全線4車線化整備や、利用促進の取組について、引き続き連携を行います。

○少子化対策の充実

子ども家庭庁発足を契機に子育て支援をより一層推進するとともに、婚活イベントの開催などで連携し、結婚から子育てまで切れ目のない総合的な支援に取り組んでいきます。

これでよろしいでしょうか。

伊原木知事

はい。

平井知事

それでは以上をもちまして今年度の両県知事会議の合意事項とさせていただきたいと思います。ちょっと時間を超過いたしましたけれども、大変なご協力いただきましてありがとうございました。この後、視察をご用意させていただきますので、ご覧いただきながら、話をさせていただきたいと思います。

< 5 閉会、記念撮影 >

岩下政策戦略監

はい、ありがとうございます。それでは両県知事による記念撮影を行います。若干配置転換を行いますのでそのままお待ちください。

それでは両県知事前をお願いします。

(記念撮影)

本日予定しておりました意見交換は全て終了いたしました。これをもちまして、令和4年度鳥取岡山両県知事会議を終了いたします。